

- 【題材名】 第4学年 体育科「ゴール型ボール運動～ハンドボール～」
- 【内 容】 ロイロノートを使って、作戦をたてる。
- 【使用アプリ】 ロイロノート
- 【事例紹介】 ロイロノートの共有ノートを使い、各チームで試合の映像を確認し、作戦をたてることができる。共有ノートを活用することで、学習の振り返りをする際に自分の動きや友達と考えた作戦を確認することができる。

(図1)

動画を簡単に編集できるため、教師が事前に前時の試合で得点につながった動きのシーンをまとめた動画を作成し、子どもたちに確認させることもできる。また、子どもたち自身が動画で作戦を確認する際、ペン機能を使って、矢印を付け、より作戦を練ろうとする姿が見られた。(図2)

(図1)



動画を確認して、自分たちで作戦をたてる。



(図2)

動画を見ながら、動きを共有する。

- 【解 説】 試合後動きをすぐに確認できるため、子どもたちは作戦をたて、実行し、反省し、練り合うところまで意欲的に活動できる。また、ボール運動でタブレットを活用すると、体育科に対して苦手意識のある子どもは、自分の動きを確認できたり、友達からアドバイスをもらう際に、自分の動きがイメージしやすくなったりして有効である。

(教育委員会主幹講評) 11月の授業実践交流会で、公開していただいた授業実践の事例です。子どもたちも動画撮影やロイロノートの操作にもなれ、Chromebook を作戦ボードとして有効活用することができていました。一人一台端末を活用した「令和の新しい学び」のスタイルが各学校でどんどんと広がっています。「個に応じた深い学び」「個別最適化された学び」の実現に向けて、更なる実践をお願いします。